

# 尾張徳川家の雛まつり

平成28年2月11日(木)～4月10日(日)

主催 徳川美術館・中日新聞社



かねひめ

## 矩姫さまの雛人形・雛道具

矩姫(貞徳院・1831～1902)は福島・二本松丹羽家10代長富にわの三女なごみとして生まれ、嘉永2年(1849)に尾張家14代当主慶勝にお輿入れしました。

矩姫の雛人形は、東帯姿三対・直衣姿よしかつ一对・狩衣姿一对の有職雛(公家の装束を正しく考証して作られた雛人形)で、高さはおよそ30センチあります。当時製作された大名家のお雛様のなかでも、ひときわ格調高い作品です。

また、矩姫の雛道具は、梨子地に松竹梅の折枝と唐草文様を配し、銀の金具を打った豪華なつくりで、80点余りが伝えられています。

## 内裏雛飾り

有職雛(東帯姿・直衣姿・狩衣姿)  
五人囃子(雅楽)  
犬張子

五対  
一揃  
二対



矩姫が所持したもう一組の小さな雛人形です。江戸時代の終わり頃、将軍家や御三家では、雛飾りが大奥の2～3箇所にしつらえられたといわれています。この人形たちの箱には「御内証」の貼札があり、プライベートな場で飾られたと考えられます。

牡丹唐草蒔絵雛道具は、徳川11代将軍家齊いえなりの雛道具と伝えられ、後に由緒あって矩姫が購入したとされています。その真偽は明らかではありませんが、江戸時代末ごろの雛道具の姿をとどめています。

## 内裏雛飾り

有職雛(衣冠姿・直衣姿・小直衣姿・狩衣姿)  
七人囃子(雅楽)・三人官女・隨身  
色絵唐子人形 貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝夫人)所用  
豆賀茂人形

五対  
一組  
一組  
一組

かねひめ

## 矩姫さまの雛道具

## 松竹梅唐草蒔絵雛道具

矩姫の雛道具です。梨子地に松竹梅の折枝と唐草文様を配し、銀の金具を打った豪華な仕様です。その数80点余りにおよびます。

貝桶・合貝  
花瓶・花台

厨子棚飾り  
台火鉢

黒棚飾り  
櫛台

書棚飾り  
乗物

冠台  
挟箱

鼻紙台  
蓑箱 茶弁当 など



## 牡丹唐草蒔絵雛道具

定かではありませんが、もとは11代将軍徳川家齊が日頃愛玩した雛道具で、のちに故あって矩姫が所持したと伝えられています。

貝桶 厨子棚飾り 黒棚飾り 書棚飾り 台子皆具 見台  
双六盤 碁盤 将棋盤 懸盤 八代集書物箱 など

さちぎみ

## 福君さまの雛道具

きくおりえだまきえ

## 菊折枝蒔絵雛道具



五撰家の筆頭・近衛家から尾張家11代齊温しゆんきょういんに嫁いだ福君(俊 恭 院・1820~40)の雛道具の内の一式です。梨子地に菊の折枝を配し、所々に近衛家の家紋である抱牡丹紋と徳川家の葵紋を散りばめたデザインを施し、金具にはすべて銀が用いられています。福君の婚礼調度として伝来する、等身大の菊折枝蒔絵調度の諸道具と遜色のない精巧な出来映えを示しています。

長持 長刀 茶弁当 文台・硯箱 鏡台 払箱 櫛台  
源氏筆筒 見台 乗物 挟箱 香盆飾り など

だきぼたんもんちらしまきえ

## 抱牡丹紋散蒔絵雛道具



「菊折枝蒔絵雛道具」とともに、福君が所持した雛道具です。梨子地に金貝と蒔絵によって、近衛家の家紋である抱牡丹紋を配し、金銅製の金具を打っています。菊折枝蒔絵の諸道具と比べ寸法に多少の違いが認められますが、豪華さと格調の高さに独特の趣きがあります。

貝桶 厨子棚飾り 黒棚飾り 書棚飾り 鏡台 碁盤 将棋盤  
双六盤 台子皆具・茶坊主人形 など

## その他の雛道具

てっせんからくさまきえ

## 鉄線唐草蒔絵雛道具

徳川美術館に伝えられた最も古い雛道具で、17世紀末から18世紀初頭に製作されたと考えられています。

双六盤・碁盤・将棋盤(個人蔵) 懸盤



## 【初公開】

## 葵紋・閑院菊紋牡丹唐草文蒔絵雛道具

眉作箱 硯箱 伝和宮所用 菱刈家寄贈





## 尾張徳川家 三世代にわたる雛段飾り



徳川美術館の創始者である、尾張家19代義親よしちかの夫人米子よねこ(1892~1980)、20代義知よしともの夫人正子まさこ(1913~1998)、そして21代義宣あきこの夫人三千子あきこ(1936~)の三世代にわたる尾張徳川家の雛段飾りです。数組の内裏雛を上段にすえ、三人官女、五人囃子をはじめ、節供の祝儀としてさまざまな方々から贈られた御所人形、毛植え人形などの人形、さらに多種多様の道具揃えが並べられ、江戸時代以降の大名家の雛段飾りのありかたがよく示されています。

## 高橋博子さまの内裏雛飾り

尾張家20代義知の次女・高橋博子さま(1938~)が愛蔵した内裏雛飾りです。雪洞や懸盤などの雛道具には、二葉葵の文様があしらわれています。

## さまざまな人形・雛道具

- |                                |       |     |
|--------------------------------|-------|-----|
| 犬張子(犬宮)                        | 建中寺蔵  | 二対  |
| 御所人形・毛作り人形                     | 西光庵寄贈 | 十二体 |
| 芥子雛                            |       | 一組  |
| 賀茂人形 猿まわし えびす大黒双六遊び 豆賀茂人形 など   |       | 一組  |
| 染付食器                           |       | 一組  |
| 御所人形 若君・姫君                     |       | 三対  |
| 市松人形 瀧沢光龍斎作 徳川正子(尾張家20代義知夫人)所用 |       | 一体  |



## あわせがい 合 貝

貝合わせは蛤の身と蓋を合わせる遊びです。二枚貝は特定の一片としか合わないため、合貝とそれを納める貝桶は、貞節の象徴として婚礼道具の中で最も大切にされました。

- |               |                        |           |
|---------------|------------------------|-----------|
| 合貝 月に芒蒔絵貝桶 附属 | 徳川義直(尾張家初代)・京姫ほか筆      | 江戸時代 17世紀 |
| 合貝 松橘蒔絵貝桶 附属  | 聖聡院従姫(尾張家9代宗睦嫡子治行正室)所用 | 江戸時代 18世紀 |

## 特 別 公 開



## ちちぶのみやひでんかせつこ 秩父宮妃殿下勢津子さまのお雛さま

秩父宮妃殿下勢津子さまは幕末に活躍した会津松平容保の孫で、昭和3年に秩父宮雍仁親王と結婚されました。妃殿下ご遺愛のお雛さまは妹の尾張徳川家20代義知夫人正子さまりゆうえいに贈られました。男雛の冠は立 纓ころうぜんで、装束は天皇のみ許される黄檫染の上衣を着用しており、皇室にふさわしい格式のある雛飾りです。

# お雛様 Q&A

## 雛の歴史

雛祭りは、古代中国において3月の最初の巳みの日に、水辺けがに出て穢わざわれや災わざわいを祓しよう行事じようしが起源と考えられています。この行事は、古く7世紀にはわが国にもたらされ、上巳じようしの節供として3月3日に行われるようになりました。平安時代には宮廷の年中行事として定着し、この日に曲水きよくすいの宴を催したり、桃酒を飲んだりしました。

また、自分の罪つみや穢つみれを、息を吹きかけたり身み肌みにすりつけて人形にんぎように託し、水辺けがに流す風習ふうじゆがわが国の俗信仰として古代からありました。これとは別に『源氏物語』をはじめとする王朝時代の文学作品の中では、幼い子どもたちの遊あそびに用もちいられた人形にんぎようを「ひいな」と呼んでいます。これらの風習が何時の頃から始まったのかは明らかではありませんが、3月3日の雛祭りの源流となったと考えられています。

江戸時代になると、次第に雛祭りは盛んになっていきました。今日みられるような雛祭りの形式は、江戸時代の初め頃に形成されたと考えられています。

## 有職雛ゆうそくひなってなあに？

「有職」とは、公家社会のさまざまな決まり事を指す言葉です。「有職雛」は、家柄や季節などによって異なる公家の着る装束を正しく考証して作られた雛人形をいいます。

有職雛は、男雛おとこひなの着ている装束の種類によって、「束帯雛」「直衣雛」「狩衣雛」とも呼ばれます。束帯は公的な儀式の際に着用される礼服、直衣は上級の公家のちよつと晴はれがましい平常服、狩衣はカジュアルな装いじゆうにです。それにあわせて、女雛めひなの装束も正装の十二単じふにひとえや日常うちきの袷あじなどが用いられています。

## 男雛おとこひなと女雛めひなの並べ方

伝統的には男雛は向かって右、女雛は向かって左に飾られました。現在の男雛が左、女雛が右とする飾り付けは、昭和天皇の即位式以降といわれています。昭和3年(1928)に昭和天皇の即位式の時の御真影を参考にして、東京の人形業界がお雛さまの飾り位置を置き換え、普及したためだといわれています。皇室が明治時代に導入した西洋のマナーに基づいていると考えられます。

## 五人囃子ごにんばやし

五人囃子には「雅楽」と「能楽」の二通りがあります。雅楽の五人囃子では、向かって右から鞆鼓たづ・太鼓たいこ・笙しょう・箏ひちりき・篳篥しやうこ（あるいは鞆鼓たづ・太鼓たいこ・鉦鼓しょうこ・笙しょうこ・箏ひちりき）が一般的です。七人囃子・八人囃子などの場合も見受けられます。能楽では、謡うたい・笛のうかん（能管）・小鼓こつづみ・大鼓おおかわ・太鼓たいこの順で並べられます。

## 御所人形ごふん

桐材をベースに胡粉ごふんを塗り重ね磨き上げて仕上げられた人形です。子どもの穢けがれのない表情が表されています。災わざわいを祓はらい、福を招く意味合いが込められています。

## 犬張子いぬはりこってなあに？

犬張子は人の顔に似せた顔をした犬をかたどった一對の置物で、犬笥いぬばことも呼ばれます。子どもが誕生すると、その無事の成長を祈って、天児あまがっと呼ばれる穢けがれや災わざわいを祓はらう意味合いの人形とともに枕元に置かれました。また婚礼の際にも持参され、生涯大切にされました。